

臭さの抜けにくい電気ケトルの湯沸しは所詮 “あたため”に過ぎない!

王道のガスレンジ+ヤカンと、場所を選ばず使えて安全な電気ケトルの新旧対決

取材・文/湯浅頭人 協力/橋本淳司 (アクアスフィア)

「お湯の旨さ」は沸騰温度と時間で

加熱するだけだからどんな方法でも同じ、と思ってしまうがちだが……。「お湯を沸かすときに重要なのは、カルキ臭の元である塩素を逃がすこと。また、沸騰させることで、有害なトリハロメタンを除去することもできます」とは水の専門家・橋本氏。なーんだ、じゃあ電気ケトルでも大丈夫? 「それが、電気ケトルの場合は沸騰直前にスイッチが切れることがあるんです。これでは塩素が十分に抜けないだけでなく、トリハロメタンにいたっては濃度が高まってしまいます。また、電気ケトルの材質によってはプラスチック臭やステンレス臭が気になることもあるでしょう」なるほど、ヤカンで十分に煮沸することが重要なようだ。「その際、おしじの要素のひとつである炭酸ガスも抜けてしまうので、沸かしたあとしばらくおくのがコツです。」

ガス+やかん



電気ケトル



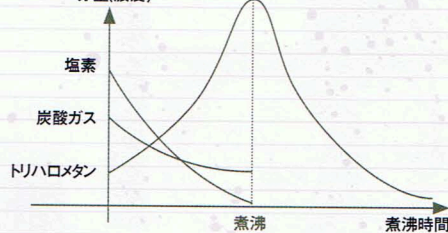
一定時間「沸騰状態」を保つことが重要

ナショナル NC-SU301

実勢価格●1万7000円前後

コードレスでも電動給湯できる沸騰ポット。三段階の温度で保温が可能。浄水・カルキ抜きほかに、お茶のおいしさを引き出す「お茶入れ健康コース」を搭載

水道水を煮沸したときの成分反応 (イメージ) 分量(濃度)



美味しい水を飲みたければ ミネラルの量で選ぶべし!

「高い浄水器ほどおいしい」というのは大いなる勘違い! 自分に必要な浄水器選びも重要

取材・文/湯浅頭人 協力/橋本淳司 (アクアスフィア)

浄水器の水質は水道が大きく影響

そもそも「美味しい水」とはどういうものだろうか? 「まず、水の味を損なう塩素臭や異物などがないこと、そしてミネラルが適度に含まれていることです」(橋本氏)。なるほど、ではミネラルウォーターのほうが美味しいということだろうか? 「ミネラルは水道水にも入っているんです。ただ、その量は地域によって異なります」。なるほど、ミネラル豊富な水道水の地域なら、浄水器だけでおいしい水が作れるというわけだ。「ただし高価な「逆浸透膜方式」の浄水器はミネラルまで除去してしまうので、純粋な水には近づきませんが味としてはそつげなくあります」。高いからいい、というわけでもなさそう。そしてミネラルが乏しい地域では、ミネラルの追加やブレンドが行われた「ミネラルウォーター」のほうが美味しいということになるだろう。

	プラス要素		マイナス要素		
	ミネラル	塩素	トリハロメタン	異物(鉄錆など)	有機物臭
水道水	△	○	△	△	▲
ナチュラルウォーター	▲	×	×	×	×
ナチュラルミネラルウォーター	○	×	×	×	×
ミネラルウォーター	○	×	×	×	×
ポルドウォーター	▲	▲	▲	▲	▲
逆浸透膜方式浄水器	×	×	×	×	×
中空糸膜方式浄水器	▲	×	▲	×	×

○→含まれる △→やや含まれる
▲→含まれていることがある ×→含まれない

逆浸透膜方式浄水器

中空糸膜方式浄水器

ポルドウォーター

ミネラルウォーター

ナチュラルミネラルウォーター

ナチュラルウォーター



ミネラルを多く含む水はどれ?